

2024年4月1日
苗穂基地労働者協同組合
株式会社ノーザンクロス

JR苗穂駅駅前に「苗穂基地」が誕生

多目的レンタルスペース
苗穂駅周辺まちづくりの拠点となってきた建物を再活用

2023年4月、JR苗穂駅駅から徒歩3分の場所に多目的スペース「苗穂基地」が誕生します。



「苗穂基地」とは、お気に入りのモノ、こだわりのコトをシェアできる多目的スペースです。2階へ抜ける吹き抜けと、道路に面した大きな窓が特徴の、開放的な空間。イベント開催、作品展示、物品販売等の多様な用途にご利用頂けます。

基本営業時間は土日の12:00～18:00、その他利用に応じてご相談に応じます。ご希望の方はInstagram (@naebo_base) へのDMもしくはメールにてお問い合わせ下さい。

アートマテリアルのリサイクルセンター《周活/Shukatsu》サテライト拠点

《周活/shukatsu》は2024年1-2月にかけて始まった、文化芸術資材の循環プロジェクトです。美術館、劇場、大学等から事業終了後にでる「まだ使える廃棄物」を回収・保管することで、他の人や団体や施設が「資材」としてそれらを安く活用できるようにします。地域のさまざまな文化活動が、環境的にも経済的にも持続可能であるための、新しいインフラストラクチャーとなっていくことを目指しています。

苗穂基地のサテライトスペースでは倉庫運用のほか、「モノの共有」をテーマに、イベントや読書会などを開催していく予定です。これに関連して、苗穂基地本体としても、物々交換の仕組みによる活動を予定しています。

苗穂駅周辺まちづくりの拠点となってきた建物

2018年、苗穂駅リニューアルと共に、再開発が進んだ苗穂駅前周辺。JRを挟んで北側は、サッポロビール工場や雪印乳業、JR苗穂工場など、北海道の大企業を育ててきた土地です。駅南側では近年、なえぼのアートスタジオやO地点を中心に文化活動の活性化が見られています。

当建物はこれまで、苗穂駅周辺まちづくり協議会（2001年発足）の拠点として利用されてきました。2012年7月より苗穂カフェとして営業を開始。地域交流の場として、また、就労支援の場として約10年開かれてきましたが、2023年3月31日に閉店しました。そこから1年を経て今、若手が動かす新たな地域施設として、始動します。

株式会社ノーザンクロスによる空き家・古民家活用プロジェクト

施設管理を行う「ノーザンクロス」は、札幌にあるまちづくりの会社です。今までに取り組んできた「旧永山武四郎邸及び旧三菱鉱業寮」のリニューアル・運営、ビルのリノベーションによる「OYOYOまち×アートセンター」の活動支援、道路を広場空間に再編した「北3条広場」(通称アカプラ)の計画支援などの経験を活かし、札幌・北海道で増加する空き家・古民家の有効活用により、各地のまちづくりに寄与することを目指しています。

また、苗穂エリアの活性化を目指すまちづくり団体「naeboでasobo」とも協力し、苗穂基地を活用した新たな居場所づくりにチャレンジします。



旧永山武四郎邸及び旧三菱鉱業寮



「naeboでasobo」イベント風景

4月のイベント予定

営業日：4月7日(日)・8日(月)・11日(木)・13日(土)・14日(日)・15日(月)・18日(木)
20日(土)・21日(日)・22日(月)・25日(木)・27日(土)・28日(日)
いずれも12:00~18:00

開催企画：《周活/Shukatsu》・【作品展】MIKA展
4月20日(土)・21日(日)は小物雑貨マーケットを開催

施設概要

| | |
|-----|---|
| 名称 | 苗穂基地 |
| 所在地 | 札幌市中央区北2条東1丁目8番35 1F |
| 床面積 | 約60㎡ |
| 設備 | 薪ストーブ(有料) 灯油ストーブ 3台(有料) 机9台 W64.2cm×D64.2cm×H71.0cm 椅子11台 壁付けベンチ 15名程度 幅680cm Wi-Fi |

運営メンバー



吉田 昂平

1994年北海道生まれ。北海学園大学、大学院にて建築学専攻。建築CG会社に就職した後、プロダクトデザイナー、建築設計事務所スタッフを経て、吉田造形研究所を設立。
収録スタジオ/店舗内装/展示什器/屋台など幅広いスケールのデザイン提案と、卒業してから業務として続けている建築の写真/映像撮影を行う。ゆきだるまにちなんだ製品デザインをきっかけに、その造形的魅力に憑りつかれ、ゆきだるま研究にも勤しむ。



戸島 由浦

1998年兵庫県生まれ。東京藝術大学にてアートプロジェクトの企画運営を学ぶ。作品や表現が生まれる過程、アーティストの営みそのものを重視して、公演やワークショップの企画を行っている。2021年、企画団体「ひよこアーツ」を創設。2022年から「Hokkaido Artists Union Studies」に運営メンバーとして参加。自身も企画制作を継続しつつ、アーティストの活動環境に関する相談に伴走し、アートマネージャー兼キャリアコンサルタントとして研鑽を積んでいる。



岡 碧幸

1994年北海道生まれ。北海道大学農学部卒、英ロイヤルカレッジオブアート修了(MA)。
事物の並び替えによって解体される文脈と生成される意味に注目しながら、インスタレーションや映像を制作、実験的デザインやパフォーマンス的介入を行う。2024年1-2月にかけて、ミュンヘンのアートコレクティブtreibgutとさっぽろ天神山アートスタジオと協働し、文化芸術資材の循環プロジェクト「周活/shukatsu」を開始。

苗穂
基地

苗穂基地労働者協同組合
naebobase@gmail.com

WEB : <https://naebobase.studio.site/>
Instagram/Threads/X : @naebo_base



株式会社ノーザンクロス
info@northerncross.co.jp

011-232-3661
WEB : <https://www.northerncross.co.jp/>